

八甲田 酸ヶ湯から大岳

日 程=1月29日(月)~2月1日(木)

メンバー=M上 M浦

昨年と同時期に八甲田に出かけました。昨年は2日テント泊でしたが今回はメンバーの希望もありテント2泊で3日目は酸ヶ湯温泉泊りの3泊4日の計画になりました。

今回は日曜日の夜行バスで出かける計画でしたが直前でメンバー一人が家庭の事情で参加できなくなりM上一人バスで向かうことに。M浦さんは青森の友人に会うということで前日に青森入りでのスタートでした。

29日:バスは少し遅れて午前9時ころ青森駅に到着。M浦さんと合流して駅前の魚市場で食材を購入。今回はマグロ、ヒラメ、つぶ貝の刺身、それに鍋用のタラとソテイして食べる厚切りの鮭を購入。これが八甲田のテント泊の楽しみの一つです。

買い物が終わり10:50の八甲田行のバスに乗りました。天候は曇りですが気温はいつもより高く路面の雪が解けてバスは予定時間に八甲田ロープウェイ駅に。昨年と同じ場所にテントを張りましたが昨年は腰近くまであった雪も小雪と気温の上昇で膝くらいしか埋まらないので楽に設営ができました。

今回も八甲田大岳に登り東面をスキーで下降して酸ヶ湯に下ることがメイン計画ですが初日は足慣らしでロープウェイで登り、もっこ沢を下りました。前日の日曜日天候が良かったので、もっこ沢はトレースだらけですがそれでも沢は広いのでトレースを避けて滑りますが気温の上昇で雪は重たく深雪を味わうまでとは行きませんでした。テントに戻り外でビールで乾杯、今年の気温からは考えられません。しばらくして夕食を始めました。買って来た刺身を並べてそれぞれ好きなお酒を、それからタラ鍋を四国のポン酢で。快適とは言えませんが宿とは違った楽しみの時間が過ぎました。

30日:どーも山の上は期待が持てない天候ですが1月の八甲田ですから了承済み。朝一番9:00のバスで酸ヶ湯温泉に向かい地獄湯ノ沢経由で仙人岱まで登り様子を見ることにしました。上手くすれば硫黄岳くらいは滑られるかも。

酸ヶ湯から出発ですが雪は固くトレースもあるので楽に歩けます。かなり昔の話ですが最初に八甲田に出かけたころはまだ真冬に地獄湯ノ沢に登る人はごく少数でトレースなど期待できず深い雪をラッセルしながら登るのが常でしたが今ではトレースが出来上がっていて途中スノーシューのパーティと出会いました。しかし天候の厳しさは昔と変わらず仙人岱に近づくと視界は無くなり風が沢を吹き抜けます。今日の山頂は無理ですが避難小屋の仙人岱ヒュッテまで行くことにしました。

GPSが進みますが平ではないので蛇行してしまいなかなか小屋にたどり着けません。やっと小屋に着き冬季用のドアを外して中に入りお昼を食べながら時間を過ごしました。しばらくして下ることにしましたが地獄湯ノ沢の降り口が見つからず急斜面に出てしまいました。コンパスで方向を再確認して一つ小尾根を越えて下ると湯ノ沢でした。

少し下ると視界も出てきます。1250m~1300mあたりが視界の境界線の様で登ったトレースを降り午後1時過ぎ酸ヶ湯温泉に到着。午後は酸ヶ湯の温泉を楽しむことにしました。



31日：天候は昨日とそれほど変わりませんが頑張って登ることにしました。本日は酸ヶ湯温泉泊りなのでテントを撤収して酸ヶ湯に向かい荷物を預けて昨日のトレースを登ります。登り始めると後ろから若い男女の外国人から声をかけられました。酸ヶ湯にいたドイツ語？を話していた二人のようでアッという間に我々を追い越して行ってしまいました。

仙人岱に着いた頃は時々50m くらいの視界があったので大岳に登ることに。最初は樹間



も広く登るのに苦労はありません。しばらく登ると先ほどの二人が現れましたがどうも仙人岱ヒュッテで天候待ちしていたようでまたアッという間に我々を追い抜いて登って行きました。我々も

負けじと後を追いますが 1400mあたりになると視界もなくなり風もなかなか強烈でシュカブラの密生で登りにくくなり山頂はあきらめることにしました。後で GPS で確認したところ 1440m位でした。

下るルートは大岳の南西斜面。多少苦労しながら南西斜面に回り込むと視界も良くなり開けてきました。誰も滑っていない斜面が広がります。大岳は東斜面が山頂からオープンバーンになっていますがこちら上部はシュカブラ斜面ですが下るとなかなか良い斜面で最後は急斜面になりますが樹氷になりかけのアオモリトドマツの間を滑り下ると登りに使ったトレースに合流しました。

お昼を食べてもう一度南西斜面を登ことに。取りつきは急ですが次第に緩くなるなり P1179 近くまで登り返し、少し方角を変えて酸ヶ湯温泉近くまで滑り下りました。温泉到着は午後 3 時くらいでした。



私は久々の酸ヶ湯温泉、M 浦さんは泊まるのは初めてだそうです。以前に比べると綺麗な談話室などができ設備は良くなっていますが以前あった野菜などを売っていた売店は今、ありません。我々の部屋は自炊棟なので近くに自炊室がありましたが今回は食事付きの宿泊。外は雪が降り続けていました。

2月1日：外は風雪模様。山はあきらめてお昼の宿のバスで青森駅に下り山行は終わりました。3日間行動できましたが雪は通年の3分の2くらいで気温が高く深雪を楽しむまでは行きませんでした。真冬の八甲田では初めての経験でしたが北陸の地震を考えればこれも良しと考えるべきでしょう。

昨年久々に八甲田を訪れて今年もまた出かけました。テント泊と言っても荷物を運ぶ苦勞もなく真冬のテント泊を楽しむことが出来るのは八甲田の良い所です。来年は、と言っても確定ではありませんが酸ヶ湯温泉近くにテントを張って今回のように最終日は酸ヶ湯に泊まって楽しむ計画をたてたいなあと話しながら新幹線で帰路に着きました。

M 上 記